

JDT2019 の Q&A

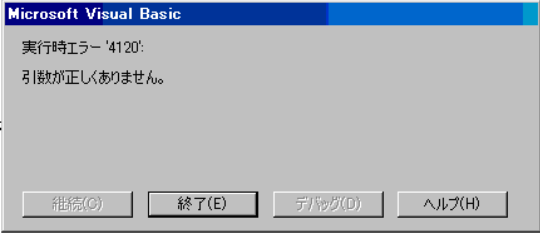
No.	お問合せ内容	回答
1	電子申請する際、本体・解説・索引以外に、表紙も作成する必要があるか。	表紙を作成する必要はありません。 規格票発行時に、弊会で作成いたします。
2	操作マニュアル（応用編）の 10 項（白紙横書きページ・ひな形の挿入方法）で横ページを挿入したが、その次のページを A4 縦ページに戻したい。	横ページのひな形を発生させる際に、発生させたい部分の前のページの最後から 2 行目にカーソルを置いた状態で、ひな形を発生させると、横ページの次に A4 縦ページ（白紙）が自動発生されます。 ただし、最終行にカーソルを置いた状態で、ひな形を発生させると、横ページの次に A4 縦ページは発生しません。そのような場合、次のページを A4 縦ページに戻す手順は、次のとおりです。 <手順> 1. 横ページの最終行に、カーソルを合わせる。 2. JDT ツールバーの [ひな形文書] → [A4 縦長用紙] を選択する。 3. ダイアログが表示されるので、ひな形文書ファイルを選択し（どちらでも可）、[OK] ボタンを押す。 4. 発生したひな形の表を削除する。 ※Word のセクション区切りで横ページを挿入すると、ページ番号が狂ったり、目次の自動作成に支障が出るので、必ず上記の方法で行ってください。
3	操作マニュアル（応用編）の 15 項（その他注意事項）の“◆JDT データ以外からのコピー”の部分を、もう少しかみ砕いた手引のようなものはあるか。 既存の電子データを用いて作業するときに、非常に有効だと思う。	現状、既に電子データがある場合だけに特化した手順書は作成しておりません。 既存の電子データを開いた際の、具体的な操作方法については、操作マニュアル（基本編）の 4 項（細別の作成）で解説していますので、併せてご参照ください。
4	半角のバックスラッシュ“\”を入力しようとすると、“¥”になる。どのように入力すればよいか。	通常の入力方法では、“¥”と表示されます。この場合、次の 方法 1 又は 方法 2 を行ってください。 <方法 1：数式を用いる場合> 1. 入力したい場所にカーソルを合わせる。 2 [★JDT ホーム] → [数式] → [数式作成] → [数式の挿入] を選択する。 3. 半角のバックスラッシュ“\”を入力し、数式エディタを閉じる。 <方法 2：ファイルのオプションを変更する場合> 1. [ファイル] → [オプション] → [詳細設定] タブを選択する。[レイアウト オプション] を開き、[バックスラッシュを円記号(¥)に変換する] のチェックを外す。入力したい場所にカーソルを合わせ、半角のバックスラッシュ“\”を入力する。 ※方法 2 の場合、“¥”を表示することができなくなりま

No.	お問合せ内容	回答
		す。“\”及び“¥”を同時に表示したい場合は、 方法 1 を行ってください。

エラーに関するお問い合わせ

No.	エラー内容	対処方法
1	JDT がインストールできない。	<p>お使いになっている環境のセキュリティによっては、次の要因によりインストールできない場合があります。</p> <p>①実行ファイルの実行が許可されない ②システム領域にデータを書き込めない</p> <p>これらの場合、あらかじめ実行ファイルから展開したデータを、ユーザ領域にコピーすることで JDT を起動できるようになります。</p> <p>詳しい手順については、日本規格協会 (jdt@jsa.or.jp) までご連絡ください。</p>
2	JDT のメニューが表示されず、機能が使えない。	<p>次のいずれかの原因が考えられます。</p> <p>①JDT が起動していない JDT を起動してから、該当ファイルを開いてください。</p> <p>②該当ファイルをダブルクリックで開いた テンプレートが適用されない状態でファイルが開くことがあります。JDT を起動し、“JIS ファイル” → “開く” から該当ファイルを開いてください。</p> <p>③ツールバーが表示されていない JDT を起動し、ツールバーの上で右クリックを押してください。表示された一覧の中から黒い星 (★) が前についている項目にチェックを入れると、ツールバーが表示されます。</p> <p>④テンプレートが適用されていない JDT を起動し、“ファイル”メニュー→“オプション”→“Word のオプション”→“アドイン”→“アクティブなアプリケーション アドイン”の中に“JIS_Control.dotm”があるかを確認してください。“JIS_Control.dotm”がない場合、次の手順でアクティブにします。 “管理”の“テンプレート”を選択→設定ボタンをクリック→“テンプレートとアドイン”ダイアログが表示される。→“アドインとして使用できるテンプレート”で“JIS_Control.dotm”にチェック→“OK”をクリック</p> <p>⑤「使用できないアイテム」に指定されている JDT を起動し、“ファイル”メニュー→“オプション”→“Word のオプション”→“アドイン”→“管理”のプルダウンメニューから“使用できないアイテム”を選択し、“設定”ボタンを押す。ダイアログボックス内に“JIS_Control.dotm”があるか否かを確認してくだ</p>

No.	エラー内容	対処方法
		<p>さい。</p> <p>ある場合は、それを選択した状態で“有効にする”ボタンを押すと、有効になります。</p> <p>⑥マクロの認証がなされていない</p> <p>Word のオプション→セキュリティセンターの設定から、「Microsoft Office の信頼できる場所」に JDT のインストールフォルダを追加してください。詳細は操作マニュアル（基本編）の 7 ページから記載されています。</p>
3	<p>JDT を起動したときに、次のエラーメッセージが表示される。</p> <p>例 1 エラー番号 5121 Microsoft Word でエラーが発生しました。</p> <p>例 2 実行時エラー '5152':アプリケーション定義またはオブジェクト定義のエラーです。</p>	<p>次のいずれかを行ってください。</p> <p>①インストール</p> <p>JDT のインストールは、administrator 権限で行う必要があります。administrator 以外のユーザーでログインしている場合は、ユーザー権限を“power user”以上に設定してください。</p> <p>②マクロの設定 [マニュアル（基本編）p.5～9 参照]</p> <p>JDT を起動する前に、Word を起動し“ファイル”メニュー→“オプション”→“Word のオプション”→“セキュリティ センター”→“セキュリティ センターの設定”→“デジタル署名されたマクロを除き、全てのマクロを無効にする”に設定します。</p> <p>さらに、“セキュリティセンター”→“信頼できる場所”→“新しい場所の追加”から、インストール先フォルダを選択し、“この場所のサブフォルダーも信頼する”にチェックを入れ、OK ボタンをクリックした後、Word を終了します。</p> <p>注記 1 “警告を表示せずに全てのマクロを無効にする”又は“警告を表示して全てのマクロを無効にする”に設定している場合、JDT は作動しません。</p> <p>注記 2 マクロの設定だけでなく、インストール先フォルダとサブフォルダの設定も同時に行わないと、JDT のマクロは正常に動作しません。</p>
4	<p>JDT を起動したときに、「mfc100.dll が必要である」旨のエラーメッセージが表示される。</p>	<p>VC++ のモジュールがインストールされていない場合このメッセージが表示されます。対応した再配布パッケージをインストールすることで起動するようになります。詳しい手順については、日本規格協会 (jdt@jsa.or.jp) までご連絡ください。</p>

No.	エラー内容	対処方法
5	<p>特定の JDT ボタンをクリックすると、“実行時エラー '4120': 引数が正しくありません。”が表示される。</p> 	<p>“ファイル”メニュー→“Word のオプション”→“基本設定”→“Microsoft Office のユーザー設定”の“ユーザー名”に任意の文字列（例えば，“JDT”など）を入力し，“OK”をクリックする。</p> <p>注記 このエラーは，“ユーザー名”にスペースだけ入力されている場合に発生します。</p>